第 103 号
（2024 年 3 月）

エル・エンジェルボランティア便り

発行所
NPO　エル・エンジェル国際ボランティア協会
〒243-0406
神奈川県海老名市国分北二丁目１７番１６号
Tel 046-236-0001　　fax046-236-0002
http://www.l-angel.or.jp

初春

今年はどんな年になるのでしょうか、そんな言葉がたくさん届いた年の始まりでした。

令和６年元日に起きた能登半島地震の被害の大きさに緊急メールで皆様にご支援を呼びかけさせて頂きました。

被災地迄のインフラも寸断し、物資の支援も何日経ってもままならず、思いをお届け出来ないもどかしさを痛感いたすばかりでした。

「共に助け合いたい」この言葉を大切に思いを込め、心を込めボランティア活動を続けて参ります。

今期は左記の事業を行うことが出来ました。

今後ともご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

☆お礼

令和６年元日に起きた能登半島地震に際し、多くの皆様からご支援金を賜りましたことを心よりお礼申し上げます。

皆様のお心を当協会名で特に被害の大きかった珠洲市・輪島市・石川県庁へ振り込ませていただきました。

皆様の尊いお心が光となって天に繋がることを。祈念申し上げます。

祈りとは
感謝の心で、
自身に内在せし愛の具現ができるよう祈ることである。

２０２３年度事業報告

◎国内事業
○東日本大地震支援継続
○青少年育成事業継続
○「ボランティア便り」の発行・配布
○福祉事業
○能登半島地震　義援金支援

◎インド事業
○教育支援
○エル・エンジェルチャイルドホーム 運営継続
○2019年の第２回インド卓球大会優勝者日本招聘
（４月21日～27日）

皆様のご協力で上記の事業を行うことが出来ました。
心より感謝申し上げます。

石川県輪島市　朝市火災被害
（Smart FLASH より）

石川県珠洲市　津波被害
（ＴＢＳ　ＮＥＷＳより）

石川県輪島市　ビル崩壊
(Infoseek ニュースより)

☆寄附金を戴く

平塚市万田の福祉施設「進和学園」の利用者らで構成される「しんわ本人自治会連合会」様より、平塚市役所で落合市長、平塚市社会福祉基金、環境みどり基金、エル・エンジェル協会に今年も寄附金を戴きました。

施設関係者やボランティアに呼びかけて集めて下さった貴重な義援金です。

「自分達の活動を応援して頂いてありがとうございます。自分達も皆様のお役に立ちたい、世界中の人々に役立てて下さい」としんわ本人自治会連合会長の挨拶がありました。

長きにわたりご支援頂き心よりお礼申し上げます。

平塚市役所にて記念撮影

☆青少年育成事業

○エル・エンジェル杯　ミニ・バスケットボール大会

12月2日海老名市総合体育館に於いて、第5回海老名市協会杯兼エル・エンジェル杯バスケットボール大会が男子10チーム、女子5チームの参加で開催されました。

夏に、ワールドカップフランス大会のアジア代表を目指して、全日本のバスケットボールの選手達が熾烈な戦いの結果、最後の試合で悲願のアジアの代表権を獲得することができました。きっと子供達も心熱くして応援していたことでしょう。バスケの選手は、総じて背が高く、それが有利なのだろうと決めつけていましたが、日本の選手で背が低いのに素早い動きをしてシュートにつなげるすごい選手がいました。そのシュートは難しい位置から決めるらしく会場を大変沸かせていました。きっとバスケ少年、少女たちにとっても、とても大切な事を見せてもらったと思います。夢や希望を膨らませた事でしょう。

子ども達が日頃の練習の成果をぶつけ合い、発揮する姿は伝わってくるものがありました。ベンチで応援する子、休憩時間に素早くモップ掛けをする子みんなが一つになって頑張っていました。決勝戦は、アジア選手権のように数点を競い合う戦いでとても見応えがありました。

当協会より健闘を讃え表彰状と、優勝チームに優勝旗と金メダル、2位チームには銀メダル、3位チームには銅メダルがそれぞれに贈られました。会長の挨拶の中で「エル・エンジェルは世界の子ども達の幸せのために活動しているグループなんです」という紹介がありました。子ども達はしっかりと前を向いて聞いていました。父兄の方々にも知っていただくとても良い機会だったと嬉しく思いました。

素早い動き

表彰式

☆回想録記（日本）

○フリーマーケット

（M・S）

ボランティア活動を振り返りますと、あの方この方多くの皆々様とのご縁を頂き色々な形で支えて頂いた事が思い出されます。フリーマーケットでの出会いはもとより個人的に寄付をして下さったり品物を届けて下さったり。なかでも地元のタウン紙が無料で何度も記事を掲載して下さった事は大きかったです。お陰さまで切手やテレホンカード、文房具やぬいぐるみ、脱穀機等頂戴する事が出来ました。寄せて下さるそのお心の多さに感動と感謝でした。その頃、当協会のボランティア各位もあちらこちらで熱心にフリーマーケットを開いては善意の資金活動をしていました。私もスーパーマーケットの駐車場等で細々でしたが開いておりました。当然ながらネパールの子供達を話題に皆さんとの交流を楽しませてもらっておりました。ある時、あるご婦人から「外国の事はその国に任せたらいいんじゃないの」「日本だって困っている人いるんじゃないの」とおっしゃられました。「もちろん国内にもさせてもらっていますよ」「私達の活動は国内外にかかわらず同じ地球号に乗り合わせた隣人だから困っていたら助け合うのが当たり前という考え方なんですよ」と。当然ながら世の中には色々な見方、考え方がある事をその方は示して下さりその方とのご縁は私にとっては学びでもありました。

近年は、国外支援活動を目にする機会も増え、敬意と共感の思いで見させてもらっておりますが、当協会の数十年に渡る活動の意義をしみじみと思います。改めて、多くの皆々様のご支援あってこそと心からご縁に感謝申し上げます。

☆石巻の子ども達へ

○クリスマスプレゼント

お好きなものを買っていただこうと商品券、チョコレートとクリスマスカードを送らせていただきました。

子ども達に日々お世話してくださる保護者の方々へ感謝の気持ちを込めてダウンベストとまるでこたつソックスを同梱させていただきました。

Hちゃんのお婆様からお礼の電話をいただきました。

心を込めてラッピング

～ こ こ ろ ～

“少し先の未来を覗きに来ませんか(1)”

いらっしゃいませー！
丸みを帯びたアーモンド形の、ミントグリーン色の目をしたロボットが、両手を広げて出迎えてくれる。
ここは、東京分身ロボットカフェ DAWN。
ここには、手足・呼吸・舌等の筋肉が徐々に衰える難病 ASL（筋萎縮性側索硬化症）や脊髄損傷等、様々な理由から外出が難しい難病患者や重度障害者等々の為に開発されたロボット達がいる。
外出困難者である従業員が、自宅のパソコンを通じて遠隔操作することで、会話や物を運ぶといった身体労働を伴う業務に従事することを可能にしているのだ。

コーヒーと軽食を注文して、案内された席に着く。暫くすると、私達の席にちょこんと居たロボット（オリヒメ）が目を覚ます。“こんにちはー！”私が最初に出会った分身ロボットを操るのは、富山に住む車いすの女学生だった。分身ロボットを操縦する彼等はパイロットと呼ばれ、分身ロボットを通じて、コーヒーや食べ物を運んだり、私達の話し相手をしてくれるのだ。なんと中にはバリスタもいて、分身ロボを通じていいコーヒー豆の選び方を教えてくれたり、美味しいコーヒーを入れてくれたりもする。
別のパイロットが秋田から操縦する分身ロボットが運んでくれたコーヒーを飲みながら、目の前にいるオリヒメロボットと話をする。富山では雪がすごいとか、大学の授業や専攻の話とか・・
照れたようにうつむいて両手で顔を隠したり、嬉しそうに万歳したり、私達の話に頷いて相槌をうってくれたり、彼女は会話に合わせて上手にオリヒメロボットを操縦しているため、イキイキと、そして至ってフツーに会話が盛り上がる。
暫くして、大学の授業があるからと抜けた彼女の代わりに、私の席に来てくれたのは、筋ジストロフィー症で、ほぼ全身を動かせず呼吸器もつけて生活をしているという、男性パイロット。
お酒（たしなむ程度だけど）も、歌も大好きだという。終始明るく軽快に話をしてくれるので、こちらも楽しい気持ちになる。

＊次号に続く

（N・Y）

○ “共に助け合いたい”それが私たちの願いです。ご協力、よろしくお願いいたします。
○ 支援金振込先　郵便口座　口座名　特定非営利活動法人エル・エンジェル
記号　１０２９０　口座番号　６８１０７１９１
ゆうちょ銀行　口座名　特定非営利活動法人エル・エンジェル
店名　（０２８）　店番　（０２８）　普通預金　口座番号　６８１０７１９
三菱東京ＵＦＪ銀行　口座名　特定非営利活動法人エル・エンジェル国際ボランティア協会
海老名支店（４０９）　普通預金　口座番号　０９６６５９７

☆支える会より

皆様からご寄付いただいたお品を、ネットのメルカリ・ヤフオク・ペイペイフリマ・ラクマに出品し、販売しました。出品手数料と送料を除いての金額が１年で**１３６，８１５円**でした。
ご寄附いただいたパソコン用の中古のペンが９千円、中古のスピーカーが８千円等、状態が良いと高く売れました。
文具好きに流行っている、ジャンクジャーナル雑記帳を４冊作って販売しました。４千２百円と高額なのに１０分で売れた時には嬉しく思いました。ご寄附いただいたレース・リボン・布も利用しています。
リサイクルショップにも持ち込みました。最近、持ち込む方が多いようで、中古バックを沢山持って行っても僅かな金額にしかならず、買い取り額が１年で、**５，９３５円**でした。
合計で**１３６，８１５円**になりました。
ＳＤＧｓの活動の一助にもなります。
ご協力をいただきましてありがとうございます。

○編集後記

能登半島地震では、地震・津波・火災そして雪・雨、自然は容赦なく襲い掛かってきました。一瞬で全てを失う怖さと悲しみを見せつけられました。
東日本大震災の時にとても心痛め「今を一生懸命生きる」そう思ったのに、時間が経つとその思いが薄れてきていたのだと、反省しました。
「今を一生懸命生きる」、残された私達にできる祈りと共に。

（E・Y）